

「三井住友海上 日越柔道交流会」挨拶

(12月8日(土) 於ハノイ国立トレーニングセンター)

グエン・マイン・フン ベトナム柔道連盟 会長

大塚慶介(おおつか・けいすけ) 三井住友海上 国際業務部長

傍島裕二郎(そばじま・ゆうじろう) 三井住友海上ベトナム現地法人 社長

みなさん、おはようございます。

●「三井住友海上 日越柔道交流会」開催に当たり、日本政府を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

●今年2018年、日越両国は外交関係樹立45周年、三井住友海上女子柔道部は、創設30周年を迎えています。この記念すべき年に、柔道を通じた日越交流が強化されることを歓迎するとともに、交流会開催に御尽力いただいた三井住友海上、同女子柔道部、ベトナム柔道連盟の皆様にご心より感謝申し上げます。

●1882年、嘉納治五郎先生により創設された柔道は、1964年の東京オリンピックで正式にオリンピック競技種目となりました。1992年のバルセロナオリンピックで、女子柔道が正式種目となって以来、日本は数多くの世界女王を輩出しました。そのうちの一人が、本日参加している中村美里

選手です（世界選手権 09 年、11 年、15 年、08 年北京、16 年リオ銅メダル）。
また、柿沢選手は、昨年東アジア選手権で優勝する等、若手の「期待の星」
です。

今回、三井住友海上からは、有力な選手二人の派遣に加え、日越外交関係樹
立 45 周年にちなんで柔道着 45 着を寄贈いただいています。

●ベトナムの柔道人口は 10 万人、柔道クラブは 70 以上あり、多くの愛好
者を擁する武道・スポーツの一つになっています。また、柔道は、単なる格
闘技ではなく、練習を通して身体・精神を鍛錬することも目的とされており、
ベトナムにおいて、柔道が多くの青少年の健全な育成に寄与すると確信しま
す。

●最近、日越間の柔道交流は活発になっています。例えば、昨年 6 月、全日
本柔道連盟の協力により、カインホア省柔道クラブに柔道畳 110 畳及び柔
道着 50 着が寄贈されました。本年 3 月、日本の JENESYS プログラム
により、柔道選手 15 名が同クラブに派遣されて交流しました。7 月からは
JICA ボランティアとして、女子柔道家 1 名がカントー市に派遣されてい
ます。11 月には、長崎県が、女子柔道選手 2 名の強化合宿をホストタウン
として受け入れました。

●2020 年オリンピック・パラリンピックは東京で開催されます。東京大

会に向け、日本政府は、「スポーツ・フォー・トゥモロー」というプログラムのもと、スポーツの普及努力を行っています。選手のみなさんには、中村選手や柿澤選手との稽古経験を活かし、是非、世界選手権大会や2020年オリンピック東京大会出場を目指していただきたいと思います。

●最後に、選手の皆さんの御健勝、日越柔道交流の一層の発展、日越関係の進展を祈念し、私の挨拶と致します。 ありがとうございました。

(了)